

目次

注意事項

安全上のご注意

ご使用上の注意

お手入れについて

本製品で使用している電池について

金属バンドの駒詰めについて

はじめに

各部の名称

文字板と画面の表示

モードを切り替える

各モードの概略

リゅうずを使う

針を一時的に移動する

充電する

暗い所で時計を見る

時刻合わせについて

標準電波で時刻を合わせる

- 概要
- 受信に適した場所
- 標準電波の受信範囲
- 自動で標準電波を受信する
- 自動受信のオン/オフ設定
- 手動で標準電波を受信する
- 受信状態のレベル表示について
- 前回の時刻合わせ結果を確認する
- 受信のご注意

時計を操作して時刻を合わせる

ワールドタイム

ワールドタイムを確認する

ワールドタイム都市を設定する

ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

アラーム

アラームをセットする

時報をセットする

アラームや時報を解除する

方位計測

方位を計測する

方位を補正する

- 方位計測値のずれを補正する
- 北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)

方位計測のご注意

高度計測

現在地の高度を確認する

高度計測値を補正(オフセット)する

基準点からの高度差を確認する

自動計測の間隔を設定する

高度を記録する

高度計測のご注意

気圧計測

気圧を確認する

気圧の変化を確認する

気圧差を確認する

気圧の急激な変化を知らせる

気圧の計測値を補正(オフセット)する

気圧計測のご注意

温度計測

温度を確認する

温度計測値を補正(オフセット)する

温度計測のご注意

高度記録の確認

記録したデータを見る

データを消去する

ストップウォッチ

計測する

スプリットを計測する

1・2 着を同時に計測する

タイマー

時間を設定する

タイマーを使う

針の補正

針の位置を補正する

その他の設定

ボタンの操作音を設定する

パワーセービング機能を設定する

補足

都市一覧

仕様一覧

困ったときは

注意事項

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	危険	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
	警告	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	注意	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。



⚠記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

危険

●二次電池について



本機から二次電池を取り出さない。発熱、破裂、発火の恐れがあります。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。



二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店に依頼する。

指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ったりすると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。

警告

●スクーバダイビングに使用しない



本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバースウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

●分解・改造しない



分解禁止

本機を分解・改造しない。

けがの原因となります。

注意

●お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

●かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

●データ保護について



データは、必ずノートなどに控えを取る。

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えます。

●ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



就寝時は時計を外す。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

●オートライト作動時のご使用について



オートライトが作動する状態で、腕につけて自動車などの運転をしない。

不意のライト点灯が運転を妨げて、交通事故の原因となることがあります。

ご使用上の注意

●防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

日常生活用防水

時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し
----------------	-----------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	×
ウインドサーフィン	×
スキンドайビング(素潜り)	×

日常生活用強化防水

5気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	5BAR
----------------	------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	×
スキンドайビング(素潜り)	×

10気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	10BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキンドайビング(素潜り)	○

20気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	20BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキンドайビング(素潜り)	○

- 専門的な潜水=スクーバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気が多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」リゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをするとき、石鹸や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなる場合があります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

●ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

●磁気

- アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでお避けください。なお、極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

● 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

● 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含むクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

● 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

● 樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

● 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

ご注意:

皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

● 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- とくどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

● 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

● 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

● データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

● センサーについて

- 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようにご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

●お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部分は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- リゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、リゅうずや回転ベゼルの回し、ボタンを押ししたりしてください。

●お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

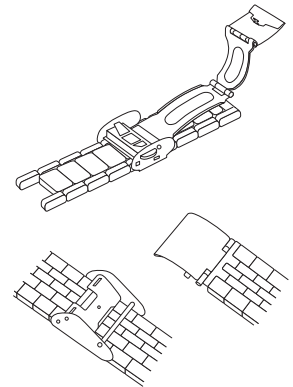
- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド*を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)へお問い合わせください。

*中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)



本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

はじめに

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

●本製品の特長

●ソーラー充電

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら動きます。

●電波受信

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

●ワールドタイム

世界 29 都市と UTC の時刻を表示できます。

●アラーム

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

●方位計測

北の方向や目標の方位を調べることができます。

●高度計測

現在地の高度を計測できます。
日時や高度を記録できます。
2 点間の高度差を計測できます。

●気圧計測

気圧傾向の表示、注意すべき気圧変化の通知もできます。

●温度計測

現在の気温を計測できます。

●高度記録の確認

高度計測で記録したデータの確認や削除ができます。

●ストップウォッチ

1/100 秒単位で 24 時間まで計測できます。

●タイマー

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が 0 になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

重要

- 専門的な計測器ではありません。計測機能は、目安としてお使いください。
- 方位計を本格的な登山などでご使用になるときは、必ず予備のコンパス(方位磁針)を携帯してください。予備のコンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、2 点補正をしてください。
- 永久磁石(磁気アクセサリなど)、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品(テレビ、パソコン、携帯電話など)の近くのような、強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。

📍方位計測

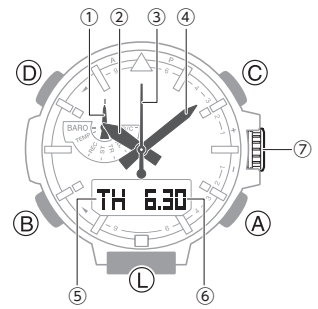
- 高度計は、計測した気圧を高度に換算した値を表示します(相対高度計)。そのため標高や海拔高度とは異なる値を表示することがあります。こまめに補正しながら計測することをおすすめします。

📍高度計測

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

各部の名称



- ① モード針
- ② 時針
- ③ 秒針
- ④ 分針
- ⑤ 曜日
- ⑥ 月・日
- ⑦ りゅうず

A ボタン

時刻モード表示中に押すと、高度計測モードに切り替わります。

B ボタン

押すたびに、モード(機能)が切り替わります。どのモードでも、2 秒以上押し続けると、時刻モードに戻ります。

C ボタン

時刻モード表示中に押すと、方位計測モードに切り替わります。

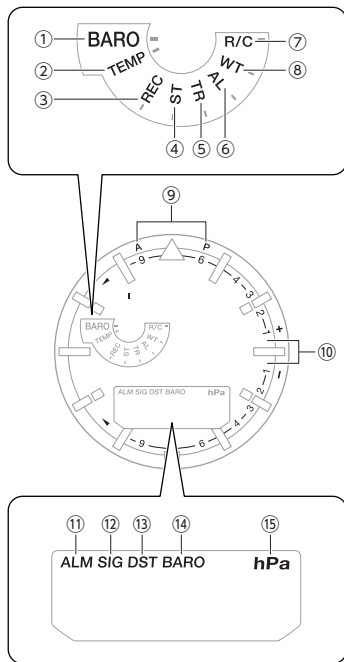
D ボタン

時刻モード表示中に押すと、画面の表示切り替えができます。

L ボタン

押すと、ライトが点灯します。

文字板と画面の表示

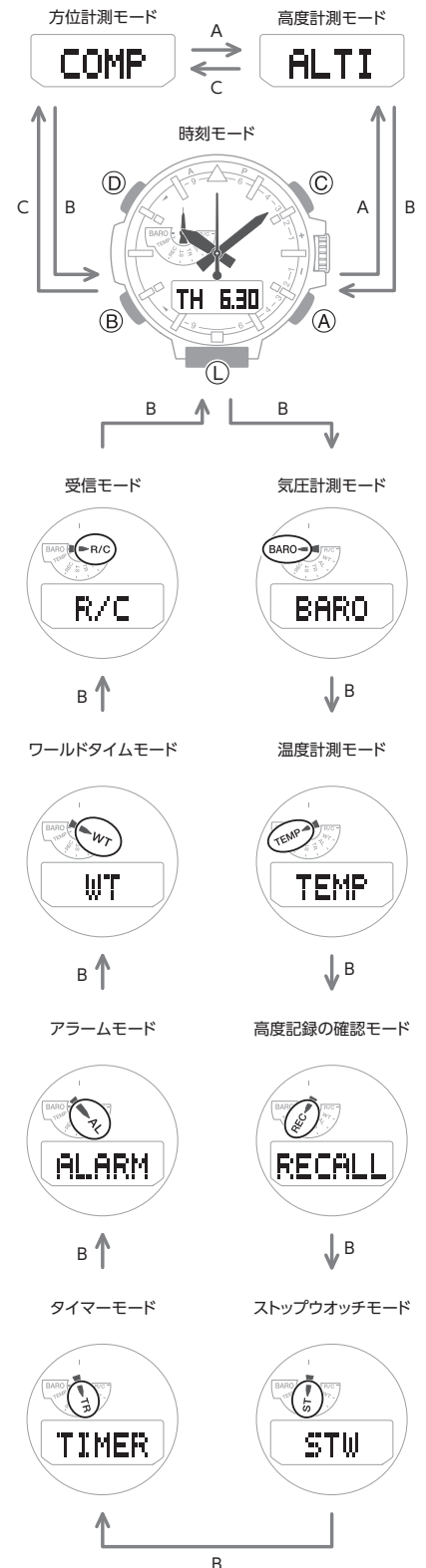


- ① 気圧計測モードのときにモード針が [BARO] を示します。
- ② 温度計測モードのときにモード針が [TEMP] を示します。
- ③ 高度記録の確認モードのときにモード針が [REC] を示します。
- ④ ストップウォッチモードのときにモード針が [ST] を示します。
- ⑤ タイマーモードのときにモード針が [TR] を示します。
- ⑥ アラームモードのときにモード針が [AL] を示します。
- ⑦ 受信モードのときにモード針が [R/C] を示します。
- ⑧ ワールドタイムモードのときにモード針が [WT] を示します。
- ⑨ 12 時間制表示で秒針が午前のにきに [A]、午後のにきに [P] を示します。
- ⑩ 高度差/気圧差を秒針が示します。
- ⑪ アラームをオンにすると点灯します。
- ⑫ 時報をオンにすると点灯します。
- ⑬ 時刻が夏時間のときに点灯します。
- ⑭ 気圧傾向インフォメーションをオンにすると点灯します。
- ⑮ 気圧の単位が点灯します。

モードを切り替える

この時計には、以下のモード (機能) があります。

- どのモードで操作していても、B ボタンを 2 秒以上押し続けると、時刻モードに戻ります。



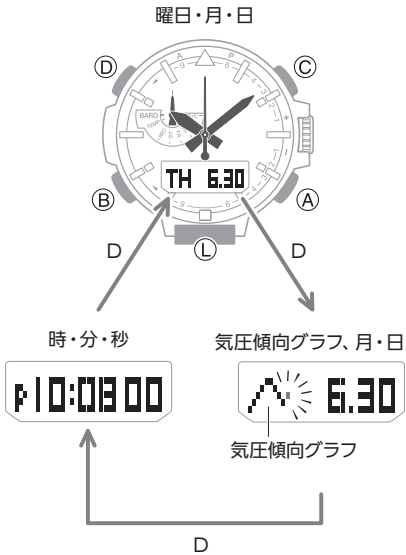
モードは、上記イラスト内に記載のボタンで切り替えます。

各モードの概略

●時刻モード

現在の曜日・月・日を表示します。
D ボタンを押して、以下の項目を表示することもできます。

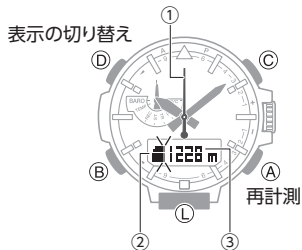
- 気圧傾向グラフ、月・日
- 時・分・秒



●高度計測モード

現在地の高度を計測します。

🔍 高度計測

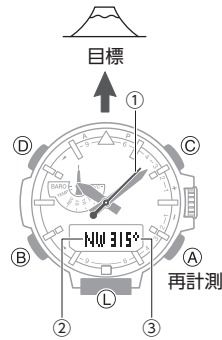


- ① 高度差/現在時刻の秒
- ② 高度傾向グラフ
- ③ 高度

●方位計測モード

方位や角度を計測します。

🔍 方位計測

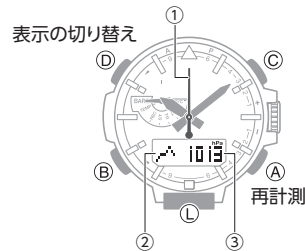


- ① 北方位
- ② 12 時方向の方位
- ③ 12 時方向の方位角

●気圧計測モード

現在地の気圧を計測します。

🔍 気圧計測

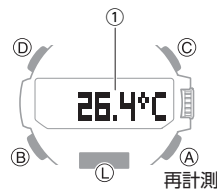


- ① 気圧差/現在時刻の秒
- ② 気圧傾向グラフ
- ③ 気圧

●温度計測モード

現在の温度を計測します。

🔍 温度計測

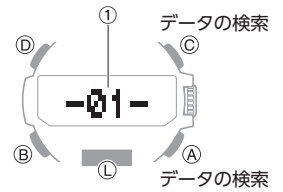


- ① 温度

●高度記録の確認モード

計測した高度記録を確認できます。

🔍 高度記録の確認

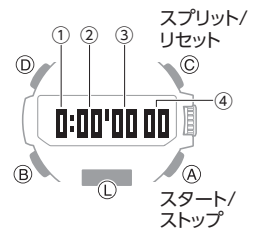


- ① 前回表示していたデータ

●ストップウォッチモード

経過時間を計測します。

🔍 ストップウォッチ

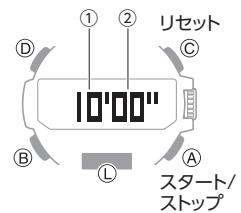


- ① ストップウォッチ時
- ② ストップウォッチ分
- ③ ストップウォッチ秒
- ④ ストップウォッチ 1/100 秒

●タイマーモード

タイマーを計測します。

🔍 タイマー

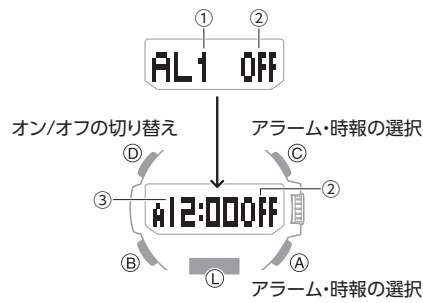


- ① タイマー分
- ② タイマー秒

●アラームモード

指定した時刻に音でお知らせします。

🔊アラーム

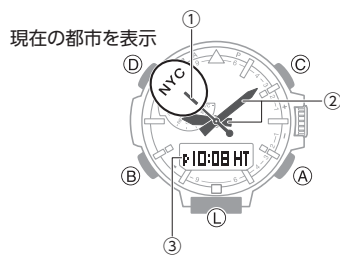


- ① アラーム番号
- ② アラーム・時報のオン/オフ
- ③ アラーム時・分

●ワールドタイムモード

世界 29 都市と UTC (協定世界時) の時刻を知ることができます。

🌐ワールドタイム

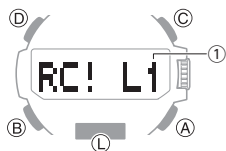


- ① 都市コード (ワールドタイム都市)
- ② ワールドタイム都市の時刻
- ③ ホーム都市の時刻

●受信モード

手動で電波を受信します。

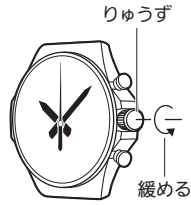
📶標準電波で時刻を合わせる



- ① 受信状態レベル

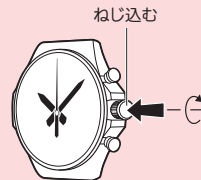
リ्यूズを使う

リ्यूズは、ねじ込み式になっています (ねじロック式リ्यूズ)。お使いになるときは、リ्यूズを左回しにして、ねじ込みを緩めてください。



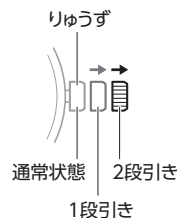
重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら、リ्यूズを押しながら右に回して必ずねじ込みをしてください。



- リ्यूズを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

●早送り/早戻しする



リ्यूズを 1 段または 2 段引いた状態で素早く繰り返し回すと早送りまたは早戻しができます。早送り中に再度リ्यूズを素早く繰り返し回すと、針の動きが速くなります。

●早送り/早戻しを解除する

リ्यूズを逆方向に回す、またはボタンを押します。

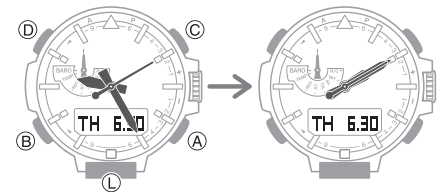
参考

- リ्यूズを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リ्यूズをいったん戻し、再度引いてください。

針を一時的に移動する

針を一時的に移動させて、画面など他の表示を見やすくすることができます。

1. L ボタンを押しながら、B ボタンを押します。
画面が見えやすい位置に針が移動します。



2. A、B、C、D のいずれかのボタンを押すと、針が通常的位置 (時刻表示) に戻ります。

参考

- 針が退避している状態で何も操作をしないまま 10 秒経過すると、針は現在時刻の位置に戻ります。

充電する

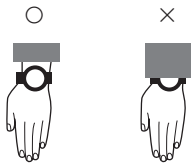
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

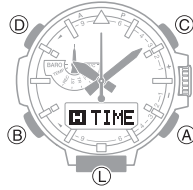


重要

- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所
- 極端な高温下では液晶パネルが黒く(液晶タイプによっては白く)なることがあります。温度が下がれば正常に戻ります。

●充電量を確認する

時刻モードに切り替えたときの画面の表示で、充電量を確認できます。



- 充電レベル 4 と充電レベル 5 は、時刻モードに切り替えなくても現象が現れます。

充電レベル 1:良好

すべての機能を使えます。



充電レベル 2:良好

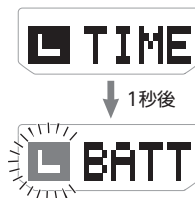
すべての機能を使えます。



充電レベル 3:充電不足

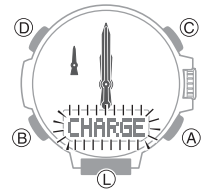
以下の機能が使用できません。また、秒針が2秒ごとに動きます。

- 電波受信
- 方位計測、高度計測、気圧計測、温度計測
- ライト点灯
- 音(アラームなど)



充電レベル 4:充電不足

レベル 3 よりも充電量が減ると、すべての機能が使えなくなります。また、すべての針が停止します。



充電レベル 5:充電切れ

すべての針が停止して、液晶画面の表示が消灯します。また、データがすべて消去され、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

重要

- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

参考

- [RECOVER] が点滅しているときは、一時的な電池消耗により、すべての機能が使用できなくなります。
- 充電が切れた状態で光に当て続けると、[CHARGE] が表示されます。これは充電を開始したことを示します。

●充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1日、使用するために必要な充電時間

光量(ルクス)	充電時間
50,000	8分
10,000	30分
5,000	48分
500	8時間

充電量の回復に必要な時間

●晴れた日の屋外など(50,000ルクス)

充電切れ → 充電量:中	3時間
充電量:中 → 充電量:高	22時間
充電量:高 → 満充電	6時間

●晴れた日の窓際など(10,000ルクス)

充電切れ → 充電量:中	7時間
充電量:中 → 充電量:高	83時間
充電量:高 → 満充電	23時間

●曇りの日の窓際など(5,000ルクス)

充電切れ → 充電量:中	10時間
充電量:中 → 充電量:高	135時間
充電量:高 → 満充電	36時間

●蛍光灯下の室内など(500ルクス)

充電切れ → 充電量:中	119時間
充電量:中 → 充電量:高	—
充電量:高 → 満充電	—

参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

●節電(パワーセービング機能)

午後10時から午前6時の間に、時計を暗い場所に約1時間置いておくと画面の表示が消えて、レベル1の節電状態になります。この状態が6~7日続くと、レベル2の節電状態になります。

節電レベル1:

秒針のみ12時位置で停止して、画面表示を消して節電します。

節電レベル2:

すべての針が停止して、画面表示を消して節電します。すべての機能を使用できません。

節電状態を解除する

以下の方法で、節電状態を解除します。

- いずれかのボタンを押す
- 時計を明るい場所に置く
- 時計を傾けてオートライト機能を作動させる

参考

- 時計が以下のときは、節電状態になりません。
 - ストップウォッチモード
 - タイマーモード
 - 気圧傾向インフォメーションを設定しているとき
- パワーセービング機能のオン/オフを切り替えることができます。
パワーセービング機能を設定する
- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。

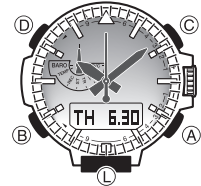
暗い所で時計を見る

暗い所で時計の表示を見るときに、ライトを点灯することができます。

●手でライトを点灯させる

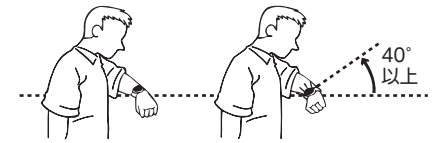
Lボタンを押すと、ライトが点灯します。

- ライト点灯中にアラーム音が鳴る、またはリ्यूーズを操作すると、消灯します。
- 電波受信中、針の移動中は、ライトが点灯しません。また、センサー計測中もタイミングにより点灯しません。



●自動的にライトを点灯させる

オートライト機能がオンのときは、時計を40°以上傾けると、ライトが点灯します。



重要

- 以下の図のように、時計が水平状態から15°以上傾いていると、点灯しにくくなります。



- 静電気や磁気の影響でオートライトが作動しないことがあります。その場合、もう一度時計を水平状態にしてから傾けてください。
- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。

参考

- 以下の状態のとき、オートライト機能は作動しません。
 - アラーム音やタイマー音などが鳴っているとき
 - 針が移動しているとき
 - 方位計測モードのとき
 - 電波を受信しているとき

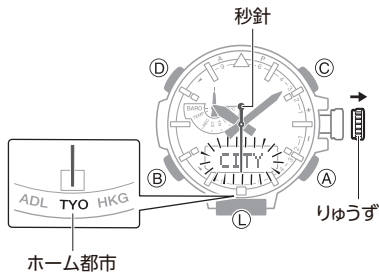
●オートライト機能を設定する

オートライト機能のオンとオフを切り替えることができます。

1. 時刻モードにします。
[🕒 モードを切り替える](#)

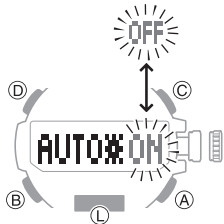
2. リゅうずを引きます。

[CITY]が点滅し、秒針がホーム都市を示します。



3. B ボタンを 3 回押します。

[AUTO]が点灯し、[ON]または[OFF]が点滅します。



4. リゅうずを回して、オートライト機能のオンとオフを切り替えます。

5. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

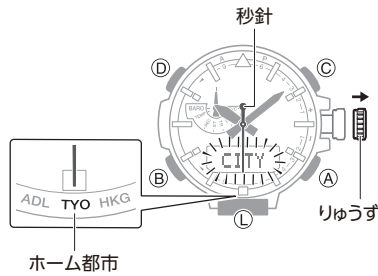
●点灯時間を設定する

ライトの点灯時間は、1.5 秒と 3 秒のどちらかを選ぶことができます。

1. 時刻モードにします。
[🕒 モードを切り替える](#)

2. リゅうずを引きます。

[CITY]が点滅し、秒針がホーム都市を示します。



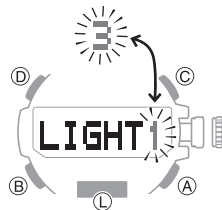
3. B ボタンを 4 回押します。

[LIGHT]が点灯し、[1]または[3]が点滅します。

4. リゅうずを回して、点灯時間を選びます。

[1]: 1.5 秒点灯します。

[3]: 3 秒点灯します。



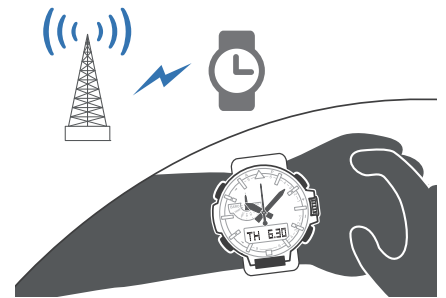
5. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

時刻合わせについて

この時計は、電波を受信して日付や時刻を合わせることができます。



標準電波で時刻を合わせる

概要

標準電波を受信すると、時計の時刻や日付を合わせることができます。

重要

- 電波を受信して正しい時刻を表示するには、ホーム都市を使用する地域に設定する必要があります。

[🕒 ホーム都市を設定する](#)

参考

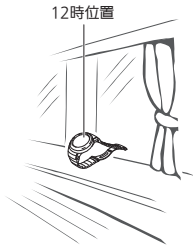
- 標準電波は、受信できる地域に限られています。標準電波を受信できない地域で使う場合は、手動で時刻を合わせてください。

[🕒 時計を操作して時刻を合わせる](#)

受信に適した場所

窓際で電波を受信できます。

- 時計の 12 時位置を窓に向けて置いてください。
- 金属は避けてください。
- 時計を動かさないでください。
- 時計を操作しないでください。



参考

- 以下の場所では、標準電波を受信しにくくなります。
 - ビルの中およびその周辺
 - 乗り物の中
 - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
 - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
 - 高圧線の近く
 - 山間部、山の裏側

標準電波の受信範囲

● 日本 (JJY)

日本の標準電波送信所は、福島県のおおたかどや山と福岡県/佐賀県のはがね山に位置します。

標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,000km 以内です。

● 中国 (BPC)

中国の標準電波送信所は、中国河南省の商丘市に位置します。

標準電波の受信範囲は、商丘送信所を中心として約 1,500km 以内です。

● アメリカ (WWVB)

アメリカの標準電波送信所は、コロラド州フォートコリンズに位置します。

標準電波の受信範囲は、フォートコリンズ送信所を中心として約 3,000km 以内です。

● イギリス (MSF)/ドイツ (DCF77)

イギリスの標準電波送信所は、カンブリア州アンソーンに位置します。

ドイツの標準電波送信所は、フランクフルト南東のマインフリンゲンに位置します。

標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,500km 以内です。

参考

- 標準電波の受信範囲内でも地形、天候、時期(季節)、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。
- ホーム都市が電波受信に対応していない都市の場合、標準電波の受信はできません。

自動で標準電波を受信する

午前 12 時(深夜 12 時)から午前 5 時の間に標準電波を受信して、自動で時刻や日付を合わせます。1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

1. 窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。
 - 標準電波を受信中は、[RC!]が点灯します。
 - 受信に成功すると、自動的に時計の時刻と日付が合い、時刻モードに戻ります。

参考

- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。

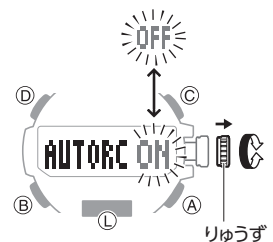
自動受信のオン/オフ設定

自動受信の設定をオフにして自動受信機能を停止させることができます。

参考

- 電波の受信に対応している都市をホーム都市に設定している場合は、自動受信のオン/オフ設定ができます。
[標準電波の受信範囲](#)

1. 受信モードにします。
[モードを切り替える](#)
2. リゅうずを引きます。
 [AUTORC]が点灯し、[ON]または[OFF]が点滅します。



3. リゅうずを回して、自動受信をオンまたはオフに設定します。
4. リゅうずを戻して、設定を終了します。

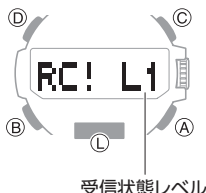
参考

- 自動受信のオン/オフ設定のとき、何も操作せず約3分間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。
- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

手動で標準電波を受信する

1. 窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。
2. 受信モードにします。
▷ モードを切り替える
3. [RC] が点灯するまで2秒以上、A ボタンを押し続けます。

標準電波の受信が始まります。標準電波を受信すると、時計の時刻と日付が合います。



受信状態レベル

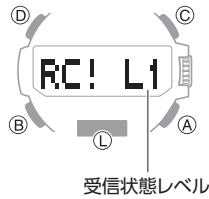
- 電波の受信中は、受信状態レベル([L1]、[L2]、[L3])を表示します。
▷ 受信状態のレベル表示について

参考

- 受信には約2分から約10分かかります。最大で約20分かかる場合もあります。
- 昼間よりも夜間のほうが標準電波を受信しやすくなります。

受信状態のレベル表示について

電波を受信しているとき、受信状態を以下のように表示します。レベル表示を確認し、電波の受信状態が最も安定する所に時計を置いてください。



受信状態レベル

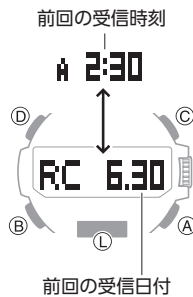


参考

- 受信の条件が良好な場合でも、受信状態が安定するまで約10秒かかります。
- 天候、時間、環境などの影響で受信状態は変化します。

前回の時刻合わせ結果を確認する

1. 受信モードにします。
▷ モードを切り替える
 最後に受信した日付と時刻を表示します。



受信のご注意

- 電波の受信による時刻合わせができないときは、平均月差±15秒の精度で動きます。
- 電波を受信して時刻合わせをするときに、時計内部の演算処理などにより若干(1秒未満)のずれが発生します。
- 時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。
 - 充電不足のとき
 - 時刻モード以外のモードのとき
 - 節電状態レベル2のとき
 - 方位計測、気圧計測、温度計測、または、高度計測をしているとき
 - 気圧傾向インフォメーションが作動しているとき
 - タイマーで計測中
 - 電波受信に対応していない都市をホーム都市の地域に設定しているとき
 - 電波の受信範囲外でお使いのとき
- 受信に成功すると、自動的に時計の時刻や日付が合います。ただし、以下のような場合は、サマータイムが正しく反映されません。
 - サマータイム開始日時、終了日時の規定が変わった
- 中国は2021年1月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

時計を操作して時刻を合わせる

電波の受信による時刻合わせができないときは、時計を操作して日付、時刻、ホーム都市を合わせます。

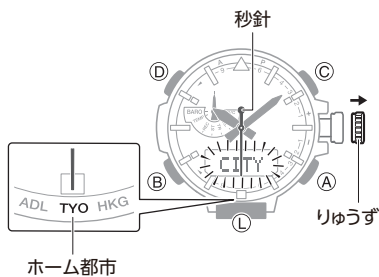
●ホーム都市を設定する

この時計を使用する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

1. 時刻モードにします。
🕒 **モードを切り替える**

2. リゅうずを引きます。

[CITY]が点滅し、秒針がホーム都市を示します。



3. リゅうずを回して、ホーム都市に設定したい都市コードに秒針を合わせます。

- 都市コードについては、下記をご覧ください。

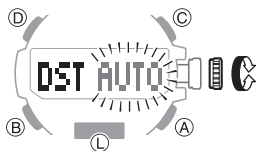
🕒 **都市一覧**

4. B ボタンを押します。

5. リゅうずを回して、サマータイムの設定を変更します。

以下の順で設定が切り替わります。

- [AUTO]
 スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
- [OFF]
 常にスタンダードタイムで表示します。
- [ON]
 常にサマータイムで表示します。



6. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- サマータイム [AUTO] の設定は、電波を受信可能な都市をホーム都市に設定しているときに有効です。

●日時を設定する

電波を受信できない地域で使用するときは、時刻と日付を手動で合わせます。

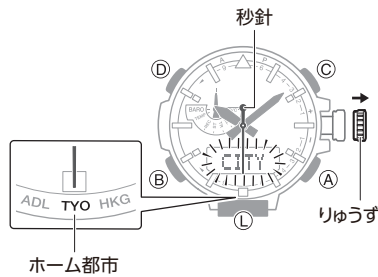
重要

- 電波を受信できる地域で使用しているときは、受信による時刻と日付の修正をおすすめします。
- 時刻と日付を合わせる前に、ホーム都市を設定してください。
🕒 **ホーム都市を設定する**

1. 時刻モードにします。
🕒 **モードを切り替える**

2. リゅうずを引きます。

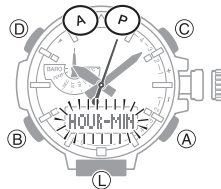
[CITY]が点滅し、秒針がホーム都市を示します。



3. D ボタンを押します。

[HOUR-MIN]が点滅します。

- 秒針の位置で午前([A])、午後([P])を確認できます。



4. リゅうずを回して「分」を合わせます。

5. B ボタンを押します。

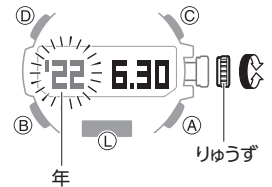
[HOUR]が点滅します。

6. リゅうずを回して「時」を合わせます。

7. B ボタンを押します。

[年]が点滅します。

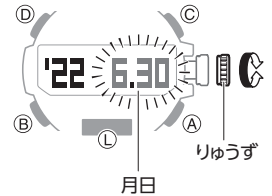
8. リゅうずを回して「年」を合わせます。



9. B ボタンを押します。

[月日]が点滅します。

10. リゅうずを回して「月日」を合わせます。



11. 時報に合わせてリゅうずを戻し、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

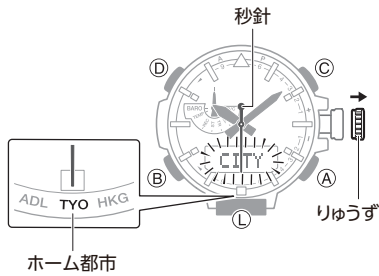
●12 時間制/24 時間制を切り替える

時刻の表示方法を、12 時間制または 24 時間制に設定できます。

1. 時刻モードにします。
🕒 **モードを切り替える**

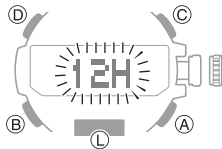
2. リゅうずを引きます。

[CITY] が点滅し、秒針がホーム都市を示します。

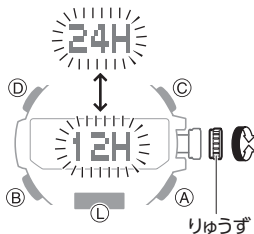


3. B ボタンを 5 回押します。

[12H] または [24H] が点滅します。



4. リゅうずを回して、[12H] (12 時間制) または [24H] (24 時間制) を選びます。



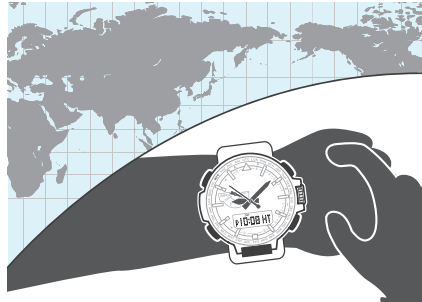
5. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

ワールドタイム

世界 29 都市と UTC (協定世界時) の時刻を知ることができます。



ワールドタイムを確認する

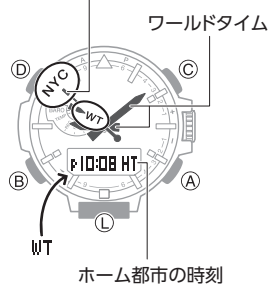
1. ワールドタイムモードにします。

🕒 **モードを切り替える**

[WT] を表示し、1 秒後に時針、分針がワールドタイム都市の時刻を表示します。秒針はワールドタイム都市の都市コードを示します。

- 液晶画面はホーム都市の時刻を示します。
- ワールドタイム都市の時刻が午前か午後かを確認するときは、A ボタンを押します。午前は [A]、午後は [P] を秒針が示します。3 秒後、秒針は秒表示に戻ります。
- D ボタンを押すと、現在選択している都市を秒針が示します。3 秒後、秒針は秒表示に戻ります。

都市コード(ワールドタイム都市)



ワールドタイム都市を設定する

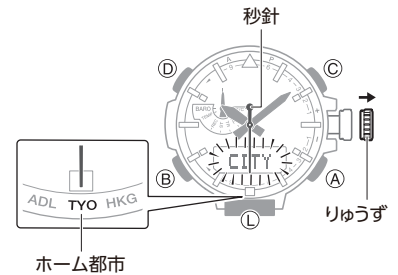
ワールドタイムを表示する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

1. ワールドタイムモードにします。

🕒 **モードを切り替える**

2. リゅうずを引きます。

[CITY] が点滅し、秒針がホーム都市を示します。

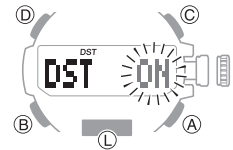


3. リゅうずを回して、秒針を設定したい都市コードの位置に合わせます。

選択した都市の現在時刻を表示します。

4. B ボタンを押します。

[ON] または [OFF] が点滅します。



5. リゅうずを回して、サマータイムの設定を変更します。

- [OFF]
常にスタンダードタイムで表示します。
- [ON]
常にサマータイムで表示します。

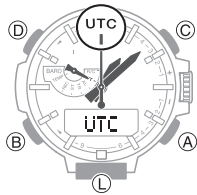
6. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- 都市に [UTC] を選んだ場合、サマータイムの設定を確認したり、切り替えたりすることはできません。

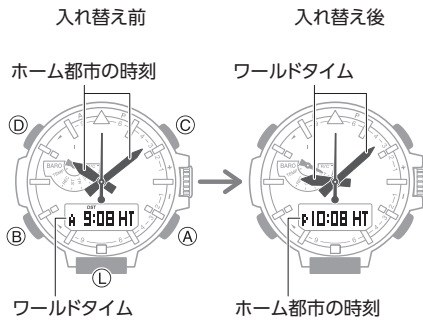
●ワールドタイム都市を UTC (協定世界時) に設定する

ワールドタイムモードで A ボタンを 3 秒以上押し続けると、ワールドタイム都市が UTC (協定世界時) に設定されます。



ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

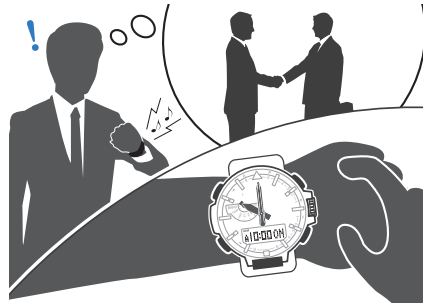
ワールドタイムモードで D ボタンを 3 秒以上押し続けると、[CITYC] が点滅し、ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻が入れ替わります。



アラーム

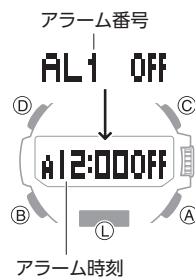
指定した時刻に音でお知らせします。アラームを 5 つ設定できます。また、毎正時 (00 分) に時報を鳴らすこともできます。

- 電池が不足しているときは音が鳴りません。

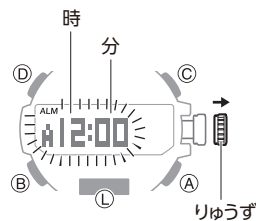


アラームをセットする

1. アラームモードにします。
 ○モードを切り替える
2. A ボタンまたは C ボタンを押して、セットしたいアラームの番号 ([AL1] ~ [AL5]) を表示させます。

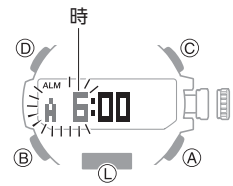


3. リューズを引きます。
 「時」と「分」が点滅します。

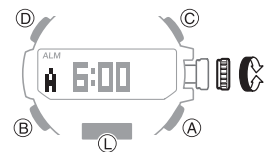


4. リューズを回して、「分」を合わせます。
 ●「分」と「時」は連動しています。

5. B ボタンを押します。
 「時」が点滅します。



6. リューズを回して、「時」を合わせます。
 ●12 時間制では、[A] (午前) または [P] (午後) を表示します。



7. リューズを戻して、設定を終了します。

参考

- アラームモードのとき、何も操作せず約 3 分間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。
- リューズを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リューズをいったん戻し、再度引いてください。

●アラームを止めるには

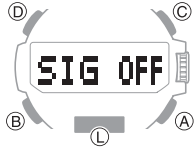
設定した時刻に音が鳴ったら、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

参考

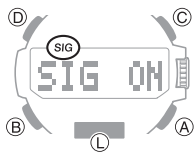
- 設定した時刻になると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。

時報をセットする

1. アラームモードにします。
🕒 モードを切り替える
2. A ボタンまたは C ボタンを押して、時報 ([SIG]) を表示させます。



3. D ボタンを押して、時報のオン/オフを切り替えます。
 - オンにすると、[SIG] (時報) が点灯します。



アラームや時報を解除する

アラームや時報の音が鳴らないようにするには、以下の操作で設定をオフにしてください。

- 再度アラームや時報の音を鳴らすには、アラームや時報の設定をオンにしてください。

参考

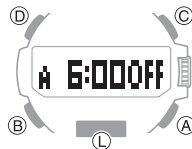
- 1 つ以上のアラームまたは時報をオンにすると、該当する表示が点灯します。
- すべてのアラームまたは時報をオフにすると、該当する表示が消灯します。



1. アラームモードにします。
🕒 モードを切り替える
2. A ボタンまたは C ボタンを押して、設定をオフにしたいアラームの番号 ([AL1] ~ [AL5]) または時報 ([SIG]) を表示させます。



3. D ボタンを押して、アラームまたは時報をオフにします。
 - D ボタンを押すたびに、オンとオフが切り替わります。
 - オフにすると [ALM] (アラーム) または [SIG] (時報) が消灯します。



参考

- [ALM] (アラーム) が消灯しないときは、他のアラームがオンになっています。すべてのアラームを解除したいときは、[ALM] (アラーム) が消灯するまで手順 2, 3 を繰り返してください。

方位計測

北の方向や目標の方位を調べることができます。



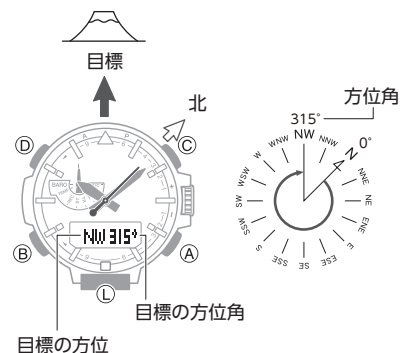
重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。
🕒 方位計測値のずれを補正する
🕒 方位計測のご注意

方位を計測する

1. 方位計測モードにします。
🕒 モードを切り替える
 - 時刻モード、高度計測モードでも操作できます。
2. 計測したい目標に、時計の 12 時位置を向けます。
3. 時計を水平に保ちながら、C ボタンを押します。
 [COMP] が表示され、方位計測を開始します。
 - 秒針が北方位を示します。画面には目標の 16 方位や方位角が表示されます。
 - 再計測するときは、C ボタンを押します。

方位の見方



方位: N (北)、E (東)、W (西)、S (南)

参考

- 計測によって示す北方位は磁北です。北方位を真北に変更することもできます。
 - ☉ **北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)**
 - ☉ **磁北と真北**
- 最初の計測結果を表示後、約 1 秒ごとに約 60 秒間計測が続きます。C ボタンを押してから約 60 秒経過すると、時刻モードに戻ります。
- 計測中は、オートライト機能でライトを点灯することができません。
- 方位計測中にアラームなどの音が鳴ったときや L ボタンを押してライトを点灯させたときは、一時的に計測が中止します。アラーム音が止まった後、またはライトが消灯した後に計測が再開します。
- 方位計測モードのとき、何も操作せず約 1 分間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。

●地図の方向と実際の風景を合わせる(整置)

「整置」とは、地図の北方位をコンパス(方位磁針)の北方位に合わせることです。「整置」をすると、地図と地形の関係を把握しやすくなります。この時計を使って「整置」をするには、地図の北方位を、この時計で計測した北方位に合わせてください。「整置」をしたら、地図の方向と周囲の風景を見比べて現在地や目的地をご確認ください。

- 現在地や目的地を確認するには、地図を読むための知識と経験が必要です。

方位を補正する

方位計測値のずれを補正する

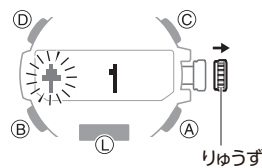
正確なコンパス(方位磁針)と比較して計測値がずれている場合や登山前に、正しい方位を計測するため、2 点補正をしてください。

- 強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。
- ☉ **方位計測のご注意**

2 点補正

- 方位計測モードにします。
☉ **モードを切り替える**

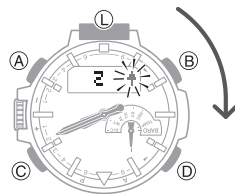
- リゅうずを引きます。
[↑1]が表示されます。



- 時計を水平に保ちながら、C ボタンを押します。

1 点目の補正計測が始まり、[↑WAIT]が表示されます。補正計測が成功すると、[OK] → [Turn 180°] → [↓2]の順に表示されます。

- できるだけ正確に時計を 180 度回します。



- C ボタンを押します。

- 2 点目の補正計測が始まり、[↓WAIT]が表示されます。
- 補正計測が成功すると、[OK]を表示して、方位計測に切り替わります。

- リゅうずを戻して、補正を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- 補正に失敗すると、[ERR]が表示されます。その場合は、手順 2 から補正をやり直してください。

北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)

表示される北方位を磁北ではなく真北にする場合は、磁気偏角の方角(東偏または西偏)と角度を設定します。

☉ 磁北と真北

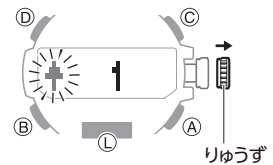
- 磁気偏角は 1°(度)単位で、近い方の値を設定してください。
例 [7.4°(度)]の場合:[7°(度)]に設定
例 [7°40'(7 度 40 分)]の場合:[8°(度)]に設定

参考

- 「磁気偏角の方角(東偏または西偏)と角度」は、地形図や登山地図のような等高線が描かれた地図に記載されています。また、国土地理院のホームページなどで調べることができます。

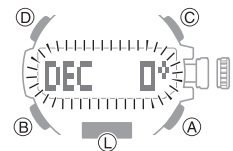
- 方位計測モードにします。
☉ **モードを切り替える**

- リゅうずを引きます。
[↑1]が表示されます。



- B ボタンを押します。

[DEC]と現在の磁気偏角の設定が表示されます。



4. りゅうずを回して、磁気偏角の方角と角度を設定します。

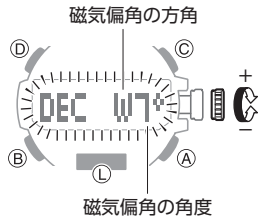
設定範囲: 西偏 90°~東偏 90°

[OFF]: 磁北

[E]: 磁北が真北よりも東(東偏)

[W]: 磁北が真北よりも西(西偏)

- 設定を [OFF] に戻すには、A ボタンと C ボタンを同時に押します。



5. りゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

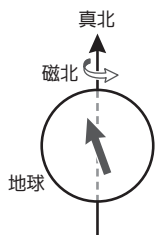
● 磁北と真北

北を示す地理用語には磁北と真北の2種類があります。

磁北: コンパス(方位磁針)が示す北

真北: 北極点の方向

下図のように、磁北と真北は一致していません。



参考

- 一般に市販されている地図の「北」は真北のことです。

方位計測のご注意

使用場所

強い磁力の近くで計測すると、計測値に誤差が発生します。以下の物から離れてご使用ください。

永久磁石(磁気アクセサリなど)、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品(テレビ、パソコン、携帯電話など)

- 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内では正確な計測はできません。
- 電車、船、飛行機などの乗り物の中では、正確な計測はできません。

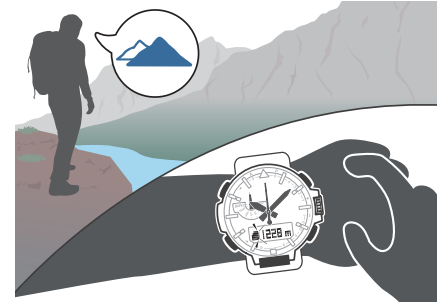
保管場所

時計本体が磁気を帯びた場合、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがあります。以下の物の近くには置かないでください。

永久磁石(磁気アクセサリなど)、金属類、家庭電化製品(テレビ、パソコン、携帯電話など)

高度計測

気圧の変化量を計測して、高度を表示します。



重要

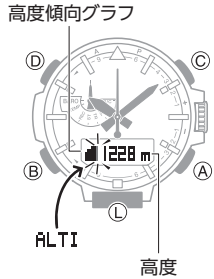
- 時計に内蔵の圧力センサーで計測した気圧の変化量を高度に換算します(相対高度計)。そのため、同じ場所で計測しても、気圧が変化すると表示する値も変化します。また、標高や海拔高度とは異なる値を表示することがあります。登山などで使用する場合は、実際に使用する場所の高度(標高)にこまめに補正してから計測することをおすすめします。
 - 🔗 [高度計測値を補正\(オフセット\)する](#)
- 標高や海拔高度と計測値の差を少なくするために、以下をご覧ください。
 - 🔗 [高度計測値を補正\(オフセット\)する](#)
 - 🔗 [高度計測のご注意](#)

現在地の高度を確認する

1. 高度計測モードにします。

🕒 モードを切り替える

高度計測モードに切り替えると計測が始まり、現在地の高度が表示されます。

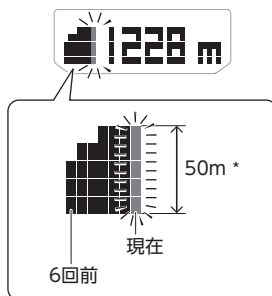


- 最初の約3分間は1秒ごとに、それ以降は設定した間隔で一定時間高度が計測されます(自動計測)。
- 自動計測の間隔を設定する方法は、以下をご覧ください。
🕒 **自動計測の間隔を設定する**
- 再計測する場合は、A ボタンを押します。
- 時刻モードに戻るには、B ボタンを押します。

参考

- 高度計測モードに切り替えたときに、秒針が時刻を示す場合と高度差を示す場合があります(前回高度を計測したときの状態が保持されています)。D ボタンを押して、秒針の表示を切り替えることができます。
- 計測範囲:-700m~10,000m(計測単位:1m)
ただし、高度計測値を補正すると、計測範囲は変わります。
- 計測範囲を超えたときは、[- -]が表示されます。

高度傾向グラフの見方



* 1つの■が10m

高度計測値を補正(オフセット)する

標高と計測値の差を少なくするため、登山の直前など計測の前に高度を補正(オフセット)することをおすすめします。

また、登山の途中でも標高の標識などと照らし合わせてこまめに補正すると、より正確な計測ができます。

参考

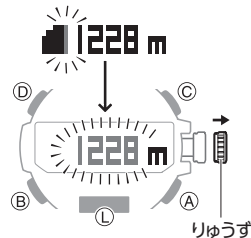
- 現在地の標高は、標識、地図、インターネットなどを使って調べることができます。
- 標高と計測値の差が発生する原因には、以下のものがあります。
 - 気圧の変化
 - 大気や標高差による温度変化
- 補正しないで計測すると、標高と計測値の差が大きくなる可能性があります。

1. 高度計測モードにします。

🕒 モードを切り替える

2. リゅうずを引きます。

現在地の高度が表示され、高度オフセットモードになります。



3. リゅうずを回して、高度の値を標高や海拔高度に合わせます。

セット範囲:-3,000~10,000m
セット単位:1m

- 高度の設定値を初期設定(工場出荷時)に戻すには、A ボタンと C ボタンを同時に押します。

4. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

基準点からの高度差を確認する

基準とする場所と移動後の高度差を秒針で確認できます。登山やトレッキングのとき、高度基準点を設定すると、基準点からの高度差を簡単に計測できます。

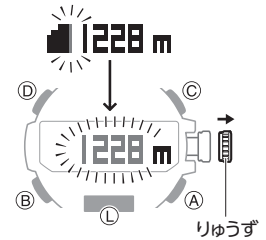
● 高度差計測範囲を設定する

1. 高度計測モードにします。

🕒 モードを切り替える

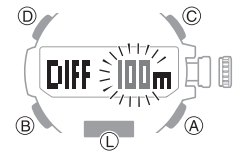
2. リゅうずを引きます。

現在地の高度が表示されます。



3. B ボタンを2回押します。

高度差の計測範囲が表示されます。



4. リゅうずを回して、[100m]または[1000m]を選びます。

[100m]: ±100m を 5m 単位で計測

[1000m]: ±1000m を 50m 単位で計測

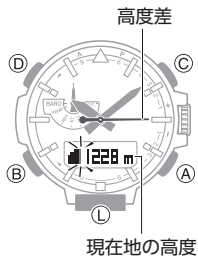
5. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

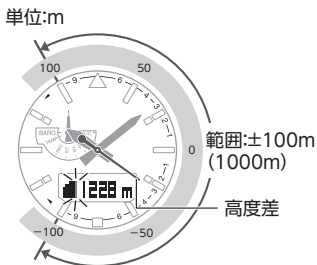
- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

●計測する

1. 地図の等高線を使って、現在地と目的地の高度差を調べます。
2. 現在地の高度を計測します。
🕒 [現在地の高度を確認する](#)
3. D ボタンを 2 秒以上押し続けて、現在地を高度基準点に設定します。
[DIFF RESET] → [RESET] を表示した後、現在地の高度が表示されます。
● 秒針が高度基準点との高度差を示します (高度差インジケーター)。この時点では、±0m を示します。



4. 地図で調べた高度差と秒針が示す高度差を比較しながら、目的地に向かって進みます。
● 地図で調べた高度差と秒針が示す高度差が同じになる地点が目的地付近です。
例: 高度差が-30m (-300m) のとき



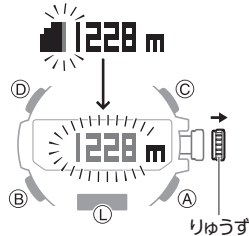
参考

- D ボタンを押して、秒針の表示を切り替えることができます。
🕒 [現在地の高度を確認する](#)
- 高度差が設定した値を超えた場合は、秒針が ▲ (オーバー) または ▼ (アンダー) を示します。
計測範囲を ±100m に設定している場合は、±1000m の設定に切り替えてご使用ください。
- 高度計の計測範囲 (-700m~10,000m) を超えたときや計測エラーが発生したときは、秒針が 45 秒位置を示します。

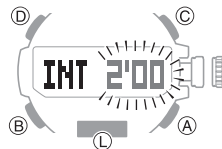
自動計測の間隔を設定する

自動計測の間隔は、5 秒または 2 分から選ぶことができます。

1. 高度計測モードにします。
🕒 [モードを切り替える](#)
2. リ्यूーズを引きます。
現在地の高度が表示されます。



3. B ボタンを押します。
自動計測の間隔が表示されます。



4. リ्यूーズを回して、自動計測の間隔を [0'05] または [2'00] から選びます。
[0'05]: 1 秒おきに 3 分間計測後、5 秒おきに約 1 時間計測
[2'00]: 1 秒おきに 3 分間計測後、2 分おきに約 12 時間計測
5. リ्यूーズを戻して、設定を終了します。

参考

- リ्यूーズを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リ्यूーズをいったん戻し、再度引いてください。
- 高度計測モードで、[0'05] に設定したときは約 1 時間、[2'00] に設定したときは約 12 時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。

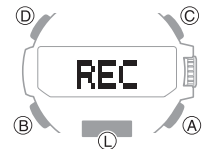
高度を記録する

計測した高度データを手動で記録することができます。また、自動計測で計測された高度データは、自動で記録されます。

- 記録したデータの確認や削除は、高度記録の確認モードでできます。
🕒 [高度記録の確認](#)

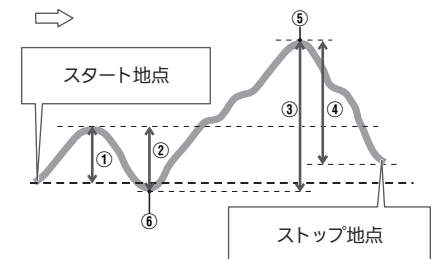
●手動で高度データを記録する

1. 高度計測モードにします。
🕒 [モードを切り替える](#)
2. [REC] が点滅から点灯に変わるまで 2 秒以上、A ボタンを押し続けます。
高度と日時が記録されます。
● 高度は、30 本まで記録できます。
● 31 本目のデータを記録すると、一番古いデータが消去されます。



●自動で高度データを記録する

高度計測モードにすると、以下の高度データが記録されます。記録されるデータは項目ごとに 1 つです。



最高高度 (MAX) : ⑤

最低高度 (MIN) : ⑥

積算上昇高度 (ASC) : ①+③*

積算下降高度 (DSC) : ②+④*

* 計測値に 15m 以上の高度差が生じたときに記録されます。

参考

- 高度計測モード以外のモードに切り替えると、自動計測が終了します。高度計測モードに再び切り替えると、その時点から前回の記録に引き続き積算計測が再開します。

高度計測のご注意

温度の影響について

高度を計測するときは、以下のように、できるだけ時計自体の温度を一定に保ってください。温度変化の影響を受けると多少の誤差が出ることがあります。

- 腕につけたままで計測する
- 温度が安定した場所で計測する

高度計測について

- スカイダイビング、ハングライダー、パラグライダーをしているとき、またはジャイロコプター、グライダーのように短時間で高度が変化する場合は、使用しないでください。
- この時計で計測した高度を、専門的または産業レベルで利用しないでください。
- 航空機内では、機内の気圧で高度を計測するため、機内でアナウンスされる高度と一致しません。

高度計測のしくみ(相対高度)

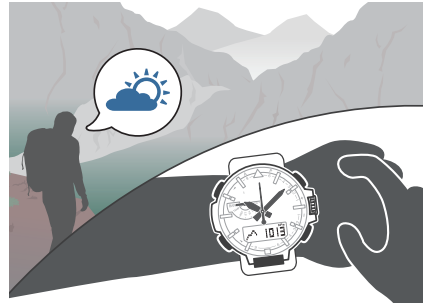
この時計では、国際民間航空機関(ICAO)が定めている国際標準大気(ISA)の定義をもとに、「相対高度」を表示します。一般的には、高度が上がると気圧は低くなります。

以下の条件下では、正しい計測ができない場合があります。

- 気象条件により、大気圧に変化が生じたとき
- 気温の変化が大きいとき
- 時計が強い衝撃を受けたとき

気圧計測

現在地の気圧、気圧の変化や傾向を確認することができます。



重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。
 - 気圧の計測値を補正(オフセット)する
 - 気圧計測のご注意

気圧を確認する

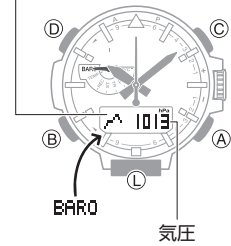
1. 気圧計測モードにします。

○ モードを切り替える

気圧計測モードに切り替えると計測が始まり、現在の気圧と気圧傾向グラフが表示されます。

- 気圧計測モードに切り替えてから3分間は約5秒ごとに気圧が計測されます。それ以降は、約2分ごとに計測されます。

気圧傾向グラフ



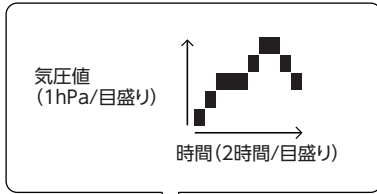
- 再計測する場合は、A ボタンを押します。
- 時刻モードに戻るには、B ボタンを2秒以上押し続けます。

参考

- 気圧計測モードに切り替えたときに、秒針が時刻を示す場合と気圧差を示す場合があります(前回気圧を計測したときの状態が保持されています)。D ボタンを押して、秒針の表示を切り替えることができます。
- 気圧計測モードで、約1時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。
- 計測範囲は260hPa~1,100hPa(1hPa単位)です。計測範囲を超えたときは、[- -]が表示されます。

気圧の変化を確認する

この時計は、2時間ごとの気圧をグラフで表示します。過去20時間分の気圧の変化をグラフで見ることができます。グラフ右端の■が最新の気圧値です。



●今後の天気を予想する

表示	意味
	グラフが上昇しているときは、気圧が上がり傾向(天気がよくなる)という目安になります。
	グラフが下降しているときは、気圧が下がり傾向(天気が悪くなる)という目安になります。

参考

- 気圧や高度が大きく変化すると、過去のデータがグラフ表示領域から外れて見えなくなることがあります(見えなくてもデータは存在しています)。
- 気圧傾向インフォメーションが表示されたときは、気圧傾向グラフは表示されません。
 ○ 気圧の急激な変化を知らせる

気圧差を確認する

気圧計測モードで計測された現在の値と、2時間ごとに自動計測された最新の値の差を秒針で確認できます。

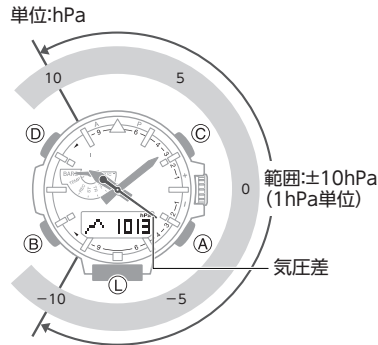
1. 気圧計測モードにします。

○ モードを切り替える

2. D ボタンを押します。

秒針が気圧差を示します(気圧差インジケーター)。

例: 気圧差が-3hPa の場合



参考

- D ボタンを押して、秒針の表示を切り替えることができます。
 ○ 気圧を確認する
- 気圧差が+10hPa を超えると秒針が▲(オーバー)を、気圧差が-10hPa を超えると▼(アンダー)を示します。
- 計測範囲(260hPa~1,100hPa)を超えたときや計測エラーが発生したときは、秒針が45秒位置を示します。

気圧の急激な変化を知らせる

注意すべき気圧の変化(急降下、急上昇、低気圧通過、高気圧通過)を時計が検知したときに、音でお知らせすることができます。また、気圧計測モードや、時刻モードで気圧傾向グラフを表示しているときは、画面に矢印が点滅で表示されます。この矢印で気圧変化の傾向を確認できます。このような告知を気圧傾向インフォメーションと呼びます。

表示	意味
	気圧が急激に下降した
	気圧が急激に上昇した
	気圧が上昇を続けた後、下降に転じた
	気圧が下降を続けた後、上昇に転じた

重要

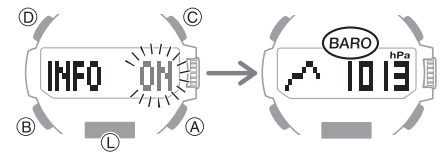
- 正しく計測するため、高度に変化がない場所で、気圧傾向インフォメーションをオンにしてください(例: 山小屋やテント滞在時、海上)。
- 高度に変化があると、気圧も変化します。そのため、正しい計測ができません。登山などで昇降するときは計測しないでください。

1. 気圧計測モードにします。

○ モードを切り替える

2. D ボタンを2秒以上押し続けます。

気圧傾向インフォメーションがオンになると、[INFO ON]が点滅から点灯に変わり、[BARO]が点灯します。



3. 気圧傾向インフォメーションをオフにする場合は、再度Dボタンを2秒以上押し続けます。

参考

- 気圧傾向インフォメーションをオンにすると、気圧計測モード以外のモードのときでも2分ごとに気圧を計測します。
- 気圧傾向インフォメーションをオンにしてから24時間経過すると、自動でオフに戻ります。
- 電池が不足しているときは、気圧傾向インフォメーションをオンにすることはできません。
- 電池が不足すると、気圧傾向インフォメーションは自動的にオフになります。

気圧の計測値を補正(オフセット)する

内蔵の圧力センサーは、工場出荷時に調整されているため、通常は補正の必要がありません。ただし、計測値に大きなずれが発生したときは、表示を補正できます。

重要

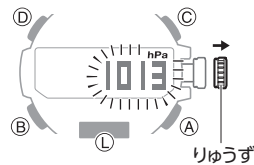
- 補正を誤ると正しい計測結果が得られません。正確な気圧計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。

1. 気圧計測モードにします。

🕒 **モードを切り替える**

2. リゅうずを引きます。

現在の気圧が表示され、気圧オフセットモードになります。



3. リゅうずを回して、値を変更します。

セット範囲: 260~1,100hPa

セット単位: 1hPa

- 工場出荷時の値に戻すには、A ボタンと C ボタンを同時に押します。

4. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

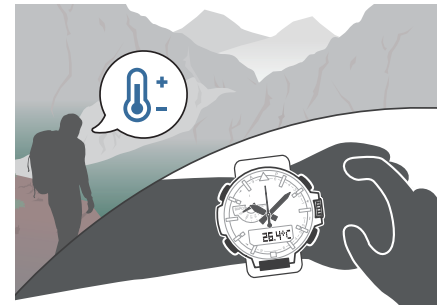
- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

気圧計測のご注意

- この時計で計測した気圧傾向グラフは、天候を予測する際の目安として使用できます。ただし、公式の天気予報や報道活動では、精密機器として使用しないでください。
- 圧力センサーは、急激な温度の変化に影響を受ける場合があります。その結果、計測した数値に多少の誤差が出る場合があります。

温度計測

現在の気温を計測できます。



重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。
- 🕒 **温度計測のご注意**

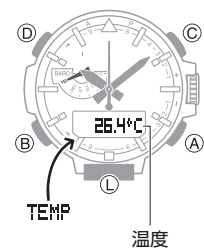
温度を確認する

1. 温度計測モードにします。

🕒 **モードを切り替える**

温度計測モードに切り替えると計測が始まり、計測結果が表示されます。

- 温度計測モードに切り替えてから3分間は約5秒ごとに計測されます。それ以降は、約2分ごとに計測されます。
- 再計測する場合は、A ボタンを押します。



参考

- 温度計測モードで、約1時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。
- 計測範囲は-10.0°C~60.0°C (0.1°C単位) です。計測範囲を超えたときは、[-.-]が表示されます。
- 時刻モードに戻るには、B ボタンを2秒以上押し続けます。

温度計測値を補正(オフセット)する

内蔵の温度センサーは、工場出荷時に調整されています。通常は補正の必要はありません。ただし、計測値に大きなずれが発生したときは、表示を補正できます。

重要

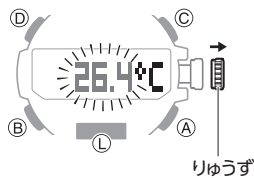
- 正確な温度計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。
- 時計を腕から外し、時計本体が周囲の温度になじむまで(20~30分)待ってから、補正してください。

1. 温度計測モードにします。

☉ **モードを切り替える**

2. リゅうずを引きます。

温度が表示されます。



3. リゅうずを回して、温度を補正します。

補正単位:0.1℃

- 工場出荷時の値に戻すには、A ボタンと C ボタンを同時に押します。

4. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

温度計測のご注意

温度計測は体温、直射日光、湿気の影響を受けます。正確な温度を計測するためには、腕から時計を外して水分を拭き取り、換気が良く直射日光の当たらない所に置いてください。約20~30分で周囲の温度を計測できます。

高度記録の確認

高度記録の確認モードでは、高度計測で記録した手動記録/自動記録のデータを見ることができます。

☉ **高度を記録する**

記録したデータを見る

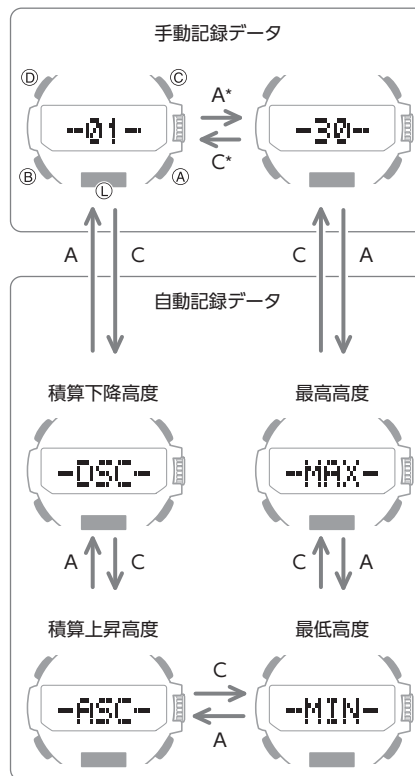
1. 高度記録の確認モードにします。

☉ **モードを切り替える**

高度計測モードで記録したデータの1つが表示されます。

2. A ボタンまたは C ボタンを押して、表示するデータを切り替えます。

- A または C ボタンを押し続けると早送りできます。



* 手動記録データは、ボタンを押すごとに1([-01-])から最大で30([-30-])まで選ぶことができます。

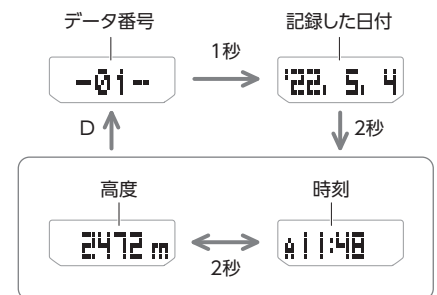
参考

- データ消去後やエラーなどでデータがない場合は、[-...]または[0]が表示されます。
- 積算上昇高度(ASC)または積算下降高度(DSC)が99,999mを超えると、0から積算します。
- D ボタンを押すと、表示しているデータの最初の表示に戻ります。
- 高度記録の確認モードのとき、何も操作せず約3分間経過すると自動的に時刻モードに戻ります。

●手動記録データの表示

手動記録データ(01~30)を選ぶと、以下のように表示が切り替わります。

例:手動記録データ 01

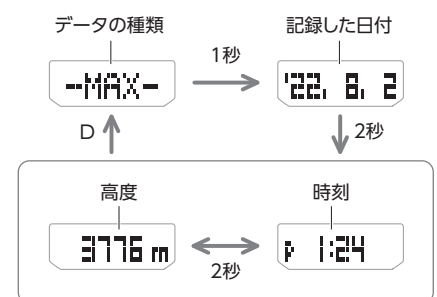


●自動記録データの表示

自動記録データを選ぶと、以下のように表示が切り替わります。

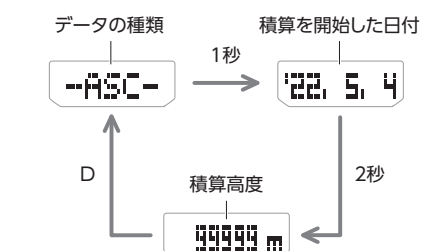
最高高度、最低高度の場合

例:最高高度



積算上昇高度、積算下降高度の場合

例:積算上昇高度



データを消去する

●特定のデータを消去する

1. 高度記録の確認モードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
2. A または C ボタンを押して、消去するデータを選びます。
3. D ボタンを 2 秒以上押し続けて、
 [CLEAR] が点滅から点灯に変わったらすぐに指をボタンから離します。
 選んだデータが消去されます。



- D ボタンを 5 秒以上押し続けると、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

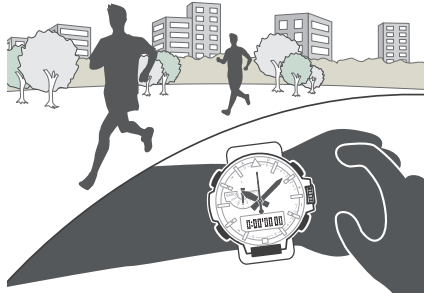
●すべてのデータを消去する

[CLEAR ALL] が点滅から点灯に変わるまで 5 秒以上 D ボタンを押し続けると、すべてのデータが消去されます。



ストップウォッチ

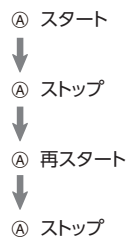
1/100 秒単位で、最大 24 時間計測できます。通常の計測のほかに、スプリットタイムも計測できます。



計測する

1. ストップウォッチモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**

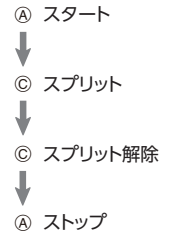
2. 以下の操作で計測します。



3. C ボタンを押して、計測をリセットします。

スプリットを計測する

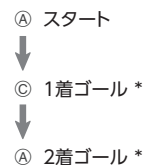
1. ストップウォッチモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
2. 以下の操作で計測します。



3. C ボタンを押して、計測をリセットします。

1・2 着を同時に計測する

1. ストップウォッチモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
2. 以下の操作で計測します。



* 1 着の計測値が表示されます。

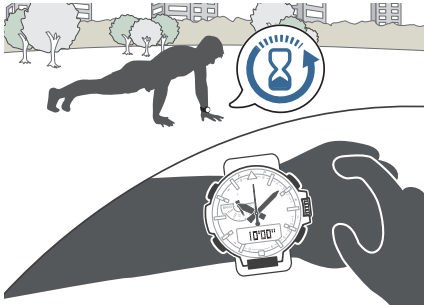


3. C ボタンを押して、2 着の計測値を表示します。
4. C ボタンを押して、計測をリセットします。

タイマー

設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。

- 電池が不足しているときは音が鳴りません。

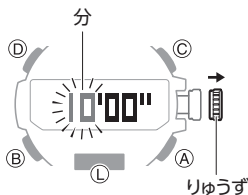


時間を設定する

タイマーは、1分単位で60分まで設定できます。

1. タイマーモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**

2. リゅうずを引きます。
 [分]が点滅します。



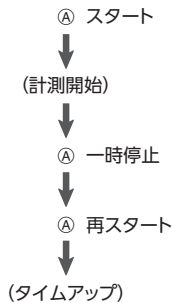
3. リゅうずを回して、タイマーの[分]を設定します。
4. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

タイマーを使う

1. タイマーモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
2. 以下の操作で計測します。



- 残り時間がゼロになると、音を10秒間鳴らしてお知らせします。
 - 一時停止中にCボタンを押すと、タイマーをリセットできます。
3. いずれかのボタンを押して、音を止めます。

針の補正

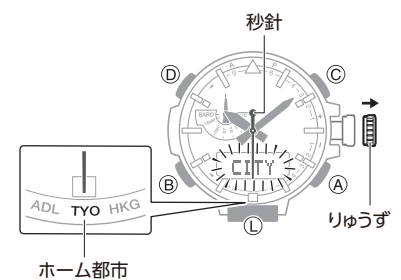
強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻と画面の時刻が合わなくなることがあります。そのようなときは、針の位置を補正します。

針の位置を補正する

1. 時刻モードにします。
 ◯ **モードを切り替える**

2. リゅうずを引きます。

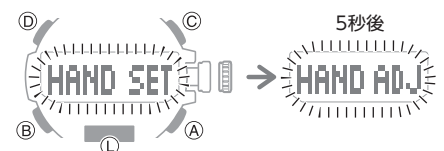
[CITY]が点滅し、秒針がホーム都市を示します。



3. Aボタンを5秒以上押し続け、[HAND ADJ]が点滅したら指を離します。
 針の補正が始まります。

- Aボタンを押し続けると約0.5秒後に[HAND SET]が点滅しますが、[HAND ADJ]が点滅するまでそのまま押し続けてください。

0.5秒後



5秒後

4. すべての針が12時位置に移動したら、リゅうずを戻します。
 針が時刻表示に戻ります。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

重要

- 針の位置補正が終了したら、時刻モードで、針の時刻と画面の時刻が合っているかご確認ください。もし針の位置がずれている場合は、再度、手順2から手順4を操作してください。

その他の設定

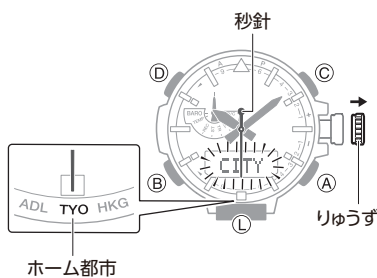
時計の各種設定を変更できます。

ボタンの操作音を設定する

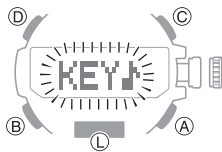
ボタンを押したときに音が鳴る/鳴らないを設定できます。

1. 時刻モードにします。
🔄 [モードを切り替える](#)

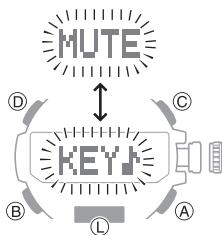
2. リゅうずを引きます。
[CITY]が点滅し、秒針がホーム都市を示します。



3. B ボタンを 2 回押します。
[KEY♪]または [MUTE]が点滅します。



4. リゅうずを回して、[KEY♪]または [MUTE]を選びます。
[KEY♪]: 操作音が鳴ります。
[MUTE]: 操作音は鳴りません。



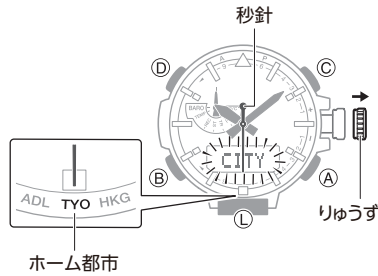
5. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- 操作音が鳴らないように設定しても、アラームやタイマーの音は鳴ります。

パワーセービング機能を設定する

1. 時刻モードにします。
🔄 [モードを切り替える](#)
2. リゅうずを引きます。
[CITY]が点滅し、秒針がホーム都市を示します。



3. B ボタンを 6 回押します。
[P.SAVE]が表示されます。



4. リゅうずを回して、オンとオフを切り替えます。
[ON]: パワーセービング機能がオンになります。
[OFF]: パワーセービング機能がオフになります。
5. リゅうずを戻して、設定を終了します。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- パワーセービング機能については、下記を参照してください。
🔄 [節電 \(パワーセービング機能\)](#)

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市一覧

都市コード	都市名	タイムゾーン
UTC	協定世界時	0
LON*	ロンドン	
PAR*	パリ	+1
ATH*	アテネ	+2
JED	ジェッダ	+3
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
KTM	カトマンズ	+5.75
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
HKG*	香港	+8
TYO*	東京	+9
ADL	アデレード	+9.5
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌーメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL*	ホノルル	-10
ANC*	アンカレジ	-9
LAX*	ロサンゼルス	-8
DEN*	デンバー	-7
CHI*	シカゴ	-6
NYC*	ニューヨーク	-5
YHZ	ハリファックス	-4
RIO	リオデジャネイロ	-3
RAI	プライア	-1

* 標準電波を受信できる都市です。

- この表は 2021 年 1 月現在のものです。
- タイムゾーンの変更ににより、UTC からの時差は上表と異なる可能性があります。

仕様一覧

精度:

電波受信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒

基本機能:

アナログ部

時・分(10秒運針)・秒

デジタル部

時・分・秒・月・日・曜日

気圧傾向グラフ

午前(A)/午後(P)/24時間制表示

フルオートカレンダー(2000~2099年)

電波受信機能:

自動受信・手動受信

受信日時確認機能

サマータイム自動切り替え

受信局自動選択機能(JJY、MSF/DCF77に対応)

受信電波 コールサイン:

JJY(40kHz/60kHz)、WWVB(60kHz)、

MSF(60kHz)、DCF77(77.5kHz)、BPC

(68.5kHz)

自動受信オン/オフ切り替え機能

方位計測機能:

計測範囲 0°~359°

計測単位 液晶部 1°、針部 6°

方位連続計測(1分)

北方位指針機能

方位補正機能(2点補正、磁気偏角補正)

高度計測機能(相対高度計):

計測範囲 -700m~10,000m

表示範囲 -3,000m~10,000m

(高度補正により、上記の範囲内で、任意の10,700mの表示が可能)

計測単位 1m

高度計測間隔設定(2分/5秒)

高度補正機能

高度傾向グラフ

高度差計測機能(-100~+100m/-1,000~+1,000m)

高度メモリー機能

手動記録データ

ボタン操作で高度、年月日、および時刻を最大30本メモリー

自動記録データ

最高高度、最低高度、積算上昇高度、積算下降高度を1本メモリー

気圧計測機能:

計測範囲 260hPa~1,100hPa

表示範囲 260hPa~1,100hPa

計測単位 1hPa

気圧調整機能

気圧傾向グラフ

気圧差インジケーター

気圧傾向インフォメーション

温度計測機能:

計測範囲 -10.0°C~60.0°C

表示範囲 -10.0°C~60.0°C

計測単位 0.1°C

温度調整機能

センサー精度:

方位センサー

計測精度 ±10°以内

(精度保証温度範囲 10°C~40°C)

方位の針表示では±2目盛以内

圧力センサー

計測精度 ±3hPa以内

(高度計測精度 ±75m以内)

- 精度保証温度範囲 -10°C~40°C

- 強い衝撃を与えたり、極端な温度環境下に放置したりすると、精度に対して悪影響を与えることがあります。

温度センサー

計測精度 ±2°C以内

(精度保証温度範囲 -10°C~60°C)

ストップウォッチ機能:

計測単位 1/100秒

計測範囲

23時間59分59秒99(24時間計)

計測機能

通常計測、積算計測、スプリット計測、

1・2着同時計測

タイマー機能:

セット単位 1分

計測範囲 60分

計測単位 1秒

タイマー報音時間 10秒間

アラーム機能:

時刻アラーム

アラーム数 5本

セット単位 時・分

アラーム報音時間 10秒間

時報 毎正時に電子音で報知

ワールドタイム機能:

世界29都市(29タイムゾーン)とUTC(協定世界時)の時刻を表示

サマータイム設定機能

都市入れ替え機能

UTCダイレクト呼び出し機能

その他:

ダブルLEDライト:文字板用LEDライトおよびLCD部用LEDバックライト(フルオートライト、スーパーイルミネーター、残照機能、残照時間切り替え(1.5秒/3秒)付き)、モニターアラーム、針位置自動補正機能、パワーセービング機能、充電量の表示(バッテリーインジケーター)、操作音の設定/解除、針退避機能

使用電池:

二次電池

持続時間 約6か月

使用条件:

ライト点灯 1.5秒/日

電子音 10秒/日

方位計測 20回/月

登山 1回/月(高度計測 約1時間、気圧傾向インフォメーション計測 約24時間)

気圧傾向グラフ 2時間おきに計測

電波受信 4分/日

表示点灯 18時間/日

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

困ったときは

電波受信 (標準電波)

Q1 電波を受信できない

時計は充電されていますか？

充電不足の場合は、電波を受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ **充電する**

時計は時刻モードになっていますか？

時刻モード以外のモードのときは電波を受信できません。時刻モードに戻してください。

☞ **モードを切り替える**

ホーム都市は正しく設定されていますか？

ホーム都市が間違っていると、正しい時刻を表示しません。ホーム都市を正しく設定してください。

☞ **ホーム都市を設定する**

それでも電波を受信できない

時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。

- 節電状態レベル 2 のとき
- りゅうずを引いているとき
- タイマー計測中

受信に成功しないときは、時刻や日付を手動で合わせてください。

Q2 電波の受信が成功しない

受信に適した場所ですか？

周辺の環境を確認し、電波を受信しやすい所で受信してください。

☞ **受信に適した場所**

受信中は時計に触れるのを控えていますか？

受信中はできるだけ時計を動かしたり、操作したりしないでください。

受信中はアラームが鳴らない設定ですか？

受信中にアラームが鳴ると受信が中止します。アラームをオフにしてください。

☞ **アラームや時報を解除する**

送信所から電波が送信されていますか？

送信所から標準電波が送信されていない可能性があります。独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) 日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。

Q3 受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない

1 時間単位、あるいは 30 分単位でずれていますか？

違う時差の時刻を表示している可能性があります。ホーム都市をお使いの地域に設定してください。

☞ **ホーム都市を設定する**

合っていないのは時・分ですか？

時針と分針の位置が合っていない可能性があります。「針の補正」で時針と分針の位置を自動補正してください。

☞ **針の補正**

それでも日時が合わない

時刻や日付を手動で合わせてください。

☞ **時計を操作して時刻を合わせる**

高度計測

Q1 同じ場所なのに計測値が異なる 標高や海拔高度と計測値に差がある 正確な高度計測ができない

時計に内蔵されている圧力センサーで計測した気圧の変化量を、高度に換算しています。そのため、同じ場所で計測しても、気圧が変化すると表示される値が変わります。また、標高や海拔高度とは異なる値が表示されることがあります。登山などで使用する場合は、実際に使用する場所の高度 (標高) に、こまめに補正してから計測されることをおすすめします。

☞ **高度計測値を補正 (オフセット) する**

Q2 高度差を計測したら、秒針が 45 秒位置を示した

高度計測値が計測範囲内 (-700m~10,000m) を超えたときは、秒針が 45 秒位置を示します。[ERR] が表示されたときは、センサーの異常の可能性があります。

☞ **基準点からの高度差を確認する**

Q3 計測中に [ERR] が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。

何回か計測しても [ERR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照) にご相談ください。

方位計測

Q1 画面の表示全体が点滅している

異常磁気を検出しました。強い磁力がある場所から離れて、再計測してください。

☞ 方位計測のご注意

- 再計測しても画面の表示が点滅する場合は、時計本体が磁気を帯びている可能性があります。強い磁力がある場所から離れてから2点補正をした後、計測してください。
- ☞ 方位計測値のずれを補正する

Q2 計測中に [ERR] が表示された

センサー異常時、または強い磁力の近くで計測したときに表示されます。強い磁力がある場所から離れて、再度計測してください。何回か計測しても [ERR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)にご相談ください。

☞ 方位計測のご注意

Q3 2点補正実施後、[ERR] が表示された

[ERR] が表示された場合、センサーの異常が考えられます。

- [ERR] 表示が約1秒後に消えた場合、もう一度補正してください。
- 何回か操作しても、[ERR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)にご相談ください。

Q4 予備のコンパス(方位磁針)と比較して、計測した方位が異なる

強い磁力がある場所から離れて、2点補正をした後、計測してください。

☞ 方位計測値のずれを補正する

☞ 方位計測のご注意

Q5 同じ場所で計測結果が異なる室内で方位を計測できない

強い磁力がある場所から離れて、計測してください。

☞ 方位計測のご注意

気圧計測

Q1 気圧差を計測したら、秒針が45秒位置を示した

気圧計測値が計測範囲内(260hPa~1,100hPa)を超えたときは、秒針が45秒位置を示します。[ERR] が表示されたときは、センサーの異常の可能性があります。

☞ 気圧差を確認する

Q2 計測中に [ERR] が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。何回か計測しても [ERR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)にご相談ください。

温度計測

Q1 計測中に [ERR] が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。何回か計測しても [ERR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)にご相談ください。

ワールドタイム

Q1 設定したワールドタイム都市の時刻がずれている

サマータイム設定(スタンダードタイム/サマータイム)が正しくない可能性があります。

☞ ワールドタイム都市を設定する

アラーム

Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

りゅうずは元の位置に戻っていますか？

りゅうずを引いた状態ではアラームが鳴りません。りゅうずを押して元の位置に戻してください。

アラームは鳴る設定ですか？

アラームの設定をオンにしてください。

☞ アラームをセットする

針の動きと画面の表示

Q1 現在の表示モードがわからない

現在のモードは、画面の表示で確認できます。モードはBボタンで切り替えることができます。

☞ モードを切り替える

Q2 秒針が2秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

Q3 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

Q4 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。
☞ 節電(パワーセービング機能)
- 標準電波を受信して、時刻合わせをしている。
☞ 標準電波で時刻を合わせる

Q5 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで(約15分間)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q6 現在時刻の表示が9時間、3時間15分など区切りのよい時間でずれている

都市の設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ ホーム都市を設定する

Q7 現在時刻の表示が1時間や30分など区切りのよい時間でずれている

サマータイム設定が正しくない可能性があります。正しく設定してください。

☞ ホーム都市を設定する

Q8 針の時刻と画面の時刻が異なる

強い磁気や衝撃の影響で針の位置が合っていないことがあります。針の位置を補正してください。

☞ 針の補正

リゅうずの操作

Q1 リゅうずを回しても何も操作できない

リゅうずを引いたまま 2 分以上 (針や日付の位置を補正している場合は約 30 分間) 何も操作しないと、操作が効かなくなります。リゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

🔗 [リゅうずを使う](#)

充電

Q1 光に当てても操作できない

充電切れになると操作できなくなります。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔗 [充電量を確認する](#)

Q2 [RECOVER] が点滅している

充電回復モードです。回復するまで (約 15 分) お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

- センサー計測、ライトの点灯などを短時間に連続使用すると充電量が急激に減少し、充電回復モードに切り替わります。一時的に使用できる機能が制限されますが、復帰後は制限が解除されます。

🔗 [充電量を確認する](#)



Q3 [CHARGE] が点滅している

充電量が著しく低下しています。すぐに、光に当てて充電してください。

🔗 [充電量を確認する](#)

その他

Q1 「困ったときは」には知りたい情報がない

以下のウェブサイトをご確認ください。

<https://casio.jp/support/wat/>